
§ 星光剣術

ここでは星光剣術を使う者達についての詳細な設定を説明する。

○道義

- ・ 宗教として誕生したわけではないが、『道義』（どうぎ）と呼ばれる、以下の教義のようなものが存在する。

- ◆ 表：星光剣術／道義一覧

自律：自らを心身ともに強靱な意志の元に制御すること。

修練：常に心身を鍛えること。肉体鍛錬は武術、精神鍛錬は瞑想を用いる。

改革：常に思慮し、自らの発展や状況の改善をあきらめないこと。

守護：力は自らと他者を守るためにあること。

調和：他者とのかかわりを大切にすること。愛情や友情を含む。

献身：他者のために役に立つこと。

- ・ 上記の少なくとも4つ以上を一定以上の水準で実践して初めて星光剣の発現に至るため、門下生は最初にこれらを叩きこまれる。
- ・ 開祖であるシリウスが提唱したものだが、彼自身は特に『自律』を重視していたと言われている。そのため、シリウス派では同じく『自律』の道義が重要視される。
- ・ 道義のどれを重要視するかは、流派によって異なるが、同じ流派であっても重要視する道義が異なる者も存在する。

○階級

- ・ 星光剣術の流派に属する者達は、大きく以下の3段階に分かれている。

- ◆ 表：星光剣術／階級一覧

門徒[もんとう]：門下生とも呼ばれる。星光剣を発現できていない見習い。

剣士[けんし]：星光剣を発現でき、本格的に星光剣術を学んでいる者。

師範[しはん]：剣士や門徒を統括・指導できる実力を備えた者。

- ・ 流派内の人口としては、おおよそ師範1：剣士6：門徒3というところである。門徒の数が以外と少ないのは、入門してもスターソードを発現するまでの訓練に耐えられなかったり、途中で諦めてしまうものがあるからである。

○訓練

- ・ スターソードは物理的な重さのほとんど無い集束高温プラズマであり、触れるだけで火傷する、ある意味で真剣などよりも危険なものである。しかし、スターソードを発現できたものは、以後、必ずそれを使う超実践的訓練を行う。
- ・ 一瞬で簡単に手足が切断され、当たり所によっては即死する威力を持つため、その訓練には異常なまでの集中力を要求される。特に師範達は、訓練中の事故を防ぐために、常に全力を持って監視することを要求される。しかし、稀に事故は発生しており、基本的にそれらは全て自己責任ということになっている。

○至高剣議会

- ・ 至高剣議会とは、一般には「剣議会」と呼ばれる、星光剣術の21流派の代表が集まる会議のことである。通常、3年に1度、開催される予定となっている。
- ・ 星光剣術の開祖であるシリウスの提唱で始まったもので、情報交換と技術交流を行うものだった。各流派の実績や所属人数、脱退者や星光剣術を使った犯罪者の情報が共有されるものである。
- ・ 後に筆頭剣士を帯同し、彼ら／彼女らによる手合わせが行われるようになった。
- ・ シリウス亡き後、筆頭剣士による手合わせは、剣術大会に発展した。それ以降、剣議会が開催される時に開かれ、筆頭剣士以外にも実力者が多数来場することになった。

○野良剣士

- ・流派に属していない／流派から破門された／流派から脱退した剣士は、極少数ながら存在する。彼ら／彼女らは、全流派から『野良剣士』と呼ばれるが、これは普通に蔑称である。
- ・スターソードは発現できたものの、素行不良や犯罪に手を染めたために破門された者は、以後、全流派で危険人物として情報共有される。そして破門後に犯罪をした場合、ハンター制度に登録した剣士によって狩られることがある。
- ・そりが合わない等の理由で流派を飛び出した者の中には、師範を上回る実力を持つ者もいる。そういった者達は、ヤクザやマフィアなどに剣客として迎えられていることもある。

・NPC

- ・名前／性別：シュピーゲル・アンタレス／♂：異能＝星光剣術
- ・アンタレス派の創始者の双子の息子で兄の方。
- ・アンタレス派の元筆頭剣士。文字通りアンタレス派でトップの実力であった。
- ・恋人がテロに巻き込まれる事件が発生。それをきっかけに発生した流派内での軋轢に嫌気がさして、アンタレス派から脱退を表明した。そのため、アンタレス派の筆頭剣士は彼の弟が引き継いでいる。
- ・元々非常に紳士的な性格で、初対面で戦うことになった相手には、スターソードを発現させ、「先に言っておく。これは世界一、手加減のできない武器だ。」と警告する。そんな言動とは裏腹に、戦いにおいては一切容赦しない。

○女性剣士

- ・どの流派も武術道場的な体制をとっているため、所属しているほとんどが男性である。しかし、全流派からすると約1%程度の女性剣士が存在する。
- ・ほぼ男社会である星光剣術の中に置いて、女性剣士は一目置かれる存在ではあるが、その実力については手加減されたりはしない。むしろ女性だからといって弱い存在であると扱われることがよくある。しかし、そんな中でスターソードを発現できた女性が弱いわけがない。全流派で見れば少ない女性剣士だが、じつは師範レベルに限定すれば、知名度の高い（そして実力も高い）者が何人も存在する。

・NPC

- ・名前／性別：多野 明日香（たの あすか）／♀：異能＝星光剣術
 - ・ポルックス派に所属する剣士。
 - ・髪は栗毛でショートボブ。活発で気の強い印象の女性。
 - ・中学生の時にポルックス派の奥義である『双光剣（ジェミニソード）』を扱えるようになり、高校生となった現在では既に師範級の実力の持ち主。
 - ・流派内では師範に就任するように打診されているが、いつも断っている。
 - ・一人で多数を相手にする1対多戦闘を得意とし、アクロバティックな動きで縦横無尽に相手を翻弄する激しい戦い方をする。
-
-